

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 センター研修【第3回】

7月5日(水)13:00~15:00 県総合社会教育センター 受講者21名

1 趣旨

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上とネットワーク形成を図ることを目的に、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得のための研修を行う。

2 内容

【講義】「次代の地域を担う若者の育成」

講師 NPO 法人「おむすび」

副理事長 大畑 伸幸（おおはた のぶゆき）氏



3 講義要旨

- 島根県益田市には「なにもない」と感覚的に答える子どもたちがいたり、地域の大人と子どもが繋がっていないという状況であったりしたことから、ライフキャリア教育を提言しました。
- ライフキャリア教育で大事にしていることは、日々を前向きに生きている「益田びと」との対話をとおして、多様な価値観・生き方に触れることです。
- 益田版カタリ場は、地域の大人とのつながりの一歩目で、地域の大人と子どもが1対1で対等に語り合い、これから「どんな大人になりたいか」という生き方を考える授業です。
- これからの社会教育のキーワードは、地域自治組織（まちづくり団体）との協働です。持続可能な地域づくりのために、持続可能なひとづくりを目指していきましょう。

4 受講者の感想から

- ・「当たり前を疑う」「何でもいってみる」「違いを楽しむ」、とても安心できる言葉だと思いました。この言葉が、学校教育や社会教育で広がっていくように努めていきたいと思います。
- ・市長部局・教育委員会でひとづくりという同じテーマの似たような事業が散見され、意義を見失っていた部分もありますが、教育委員会、社会教育部門はとくにライフキャリアという視点を重視する必要があることに気付くことができました。
- ・子どもたちが主役になれることで、役割が生まれ、自分事として地域のことを考える機会があるのは素晴らしいと感じました。
- ・若者の育成に長く携わった成果として、若者の自己有用感が高まり、地元で将来住みたいという子どもが増え、地域活動が盛んになり、実際にこのように実現できる、ということに感銘を受けました。

本研修第3回目として、大畑氏による講義「次代の地域を担う若者の育成」から、「益田版カタリ場」の効果により、地域での様々な活動の広がりが見られたことを学ぶことができました。島根県益田市のひとづくり政策は、子どもを中心に据えており、子どもの変容が大人を元気にし、活動の原動力になる、という好循環が生まれているというお話は、先進的な事例を知る貴重な機会となりました。